

## 徳山ダム建設事業に関する事業実施計画変更の概要

### 1. 計画変更の概要

#### (1) 洪水調節

洪水調節機能の向上のため徳山ダム等の洪水調節容量を増量した。この結果、木曽川水系工事実施基本計画で目標としているダムによる洪水調節量が充足され、今後見込んでいた万石地点上流のダムが不要となる。これにより、早期にかつ経済的に揖斐川の治水安全度を向上させる。

#### (2) 新規利水

関係県市において安定的な水利用を可能にする将来の水需要の見通しを検討した結果、徳山ダムへの利水参画量が減量（1.2m<sup>3</sup>/s → 6.6m<sup>3</sup>/s）されるため、新規利水容量を減量した。

#### (3) 流水の正常な機能の維持

揖斐川沿川の既得用水が安定的に取水できるように、また河川環境の維持、保全を図るため不特定容量を増量した。

#### (4) 発電

上記により、治水容量を増加させ、新規利水容量と底水容量を減少させたことにもない、発生電力量が減少し、発電事業者は、発電計画を変更した。

### 2. 計画の概要

#### (1) 洪水調節

洪水調節容量 : 123,000千m<sup>3</sup>（洪水期）  
洪水調節方式 : 流入量200m<sup>3</sup>/s以上全量カット

#### (2) 流水の正常な機能の維持

不特定容量 : 115,000千m<sup>3</sup>（洪水期）  
224,000千m<sup>3</sup>（非洪水期）  
渇水対策容量 : 53,000千m<sup>3</sup>

#### (3) 新規利水

新規利水量 : 6.6m<sup>3</sup>/s  
岐阜県水道用水 1.2m<sup>3</sup>/s、愛知県水道用水 2.3m<sup>3</sup>/s、名古屋市水道用水 1.0m<sup>3</sup>/s、  
岐阜県工業用水 1.4m<sup>3</sup>/s、名古屋市工業用水 0.7m<sup>3</sup>/s  
新規利水容量 : 78,000千m<sup>3</sup>

#### (4) 発電

最大出力 : 15.3万kW（徳山発電所）  
発電専用容量 : 11,400千m<sup>3</sup>

#### (5) 工期

平成19年度予定

#### (6) 事業に要する費用の概算額

約3,500億円